

## 総括質疑並びに一般質問（個人質問）

【質問日】平成26年12月5日（金）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	川添 公貴	<p>1 閉校跡地の活用で地域活性化を（地域による産業育成と集いの場の確保）</p> <p>(1) 地方創生関連法の活用ができないか。</p> <p>(2) 閉校校舎等の活用方法として、地元住民による農産業経営などについて</p> <p>(3) 閉校校舎等への企業誘致について</p> <p>2 過疎化対策と住民福祉について</p> <p>(1) 身近な住民サービスとして、職員の地区コミ配置（センター方式ではない。）による身近な相談及び住民票などの交付ができないか。お出掛け支援策の一環としても。</p> <p>(2) 子育て世代に絞った過疎地定住策を</p> <p>(3) 高齢・過疎化が進む自治会では、活動・共同作業が困難になっている。抜本的な対策・施策を考えているか。また、現状の自治会支援制度は自立への支援だが、長期的支援に改善するべきではないか。</p> <p>3 財政運営プログラムに関して</p> <p>(1) 合併による交付税の特例措置が終わることを条件として策定されているが、今般、国において財政支援策（6割程度交付）が見込まれている。その係数を勘案した内容（歳入）に変更する必要があるが、試算しておくべきではないか。</p> <p>(2) 試算に基づいて歳出の見直しをどのようにするのか。</p> <p>(3) 地方創生関連法を踏まえた制度設計の盛り込みはどのように考えるか。</p>
2	谷津 由尚	<p>1 薩摩川内市環境基本計画第2期に向けて</p> <p>薩摩川内市の環境基本計画の第1期は、平成19年9月に策定された。また、第2期の計画期間を平成27年度から平成36年度までの10年間と定め、策定予定である。一方で川内川水質改善において、本市の生活排水等に対する下水道の接続率や合併浄化槽の普及率は改善が図られず、両者の政策連携は見直しの必要があるのではないかと。また、大気における課題も多い。これらを環境の側面から問う。</p> <p>(1) 本市の環境基本計画第1期の目標と成果の比較について</p> <p>(2) 第2期の活動計画について、具体的目標と期待値を問う。</p> <p>(3) 環境保全のための取組の中の大気環境における課題について</p> <p>(4) 環境的側面から見た次世代エネルギーの普及政策について</p> <p>2 薩摩川内市の「農林漁業の六次産業化」の取組について</p> <p>(1) 本年9月13日に出された薩摩川内市六次産業化基本計画の概要については、ロードマップ化し、取り組むポイントやリソースの集中など具体的にすべきではないか。</p> <p>(2) 本市の六次産業政策における個人単位への展開はいつからか。</p>
3	福元 光一	<p>1 本市の今後の農業施策について</p> <p>(1) 自治体の長として、政府与党に農業施策のどのような点を求めているのか。</p> <p>(2) 六次産業化実施計画審査会を主導する中で、会議の構成員が一次産業を含めて六次産業化の流れそのものを勉強されているのか。</p>

		<p>(3) 六次産業化実施計画の承認事業者を支援する目的で、行政関係者はもちろん市民に広く承認事業者の情報を提供し、多くの皆様に当該事業者を利用してもらう考えはないか。</p> <p>(4) 今後、六次産業化実施計画の承認まで、一次産業者すなわち農林漁業者をどのような施策で支援されていくのか。</p> <p>2 甌島地域の観光施策について</p> <p>(1) 本年4月の高速船甌島の就航後、市内外からの観光客数は</p> <p>(2) 同時期における串木野新港発着時との比較は</p> <p>(3) フェリーニューこしきを早い時期に川内港発着にしてはどうか。</p>
4	井上 勝博	<p>1 産業廃棄物管理型最終処分場問題について、本年3月議会の市の答弁を踏まえて質問する。</p> <p>(1) 不起訴となった河川法第26条違反とは何か。</p> <p>(2) 不起訴とはなったが、違法行為には違いないか。</p> <p>(3) 被疑者は何者か。公社は被疑者になるのか。</p> <p>(4) 「守る会」は、本年7月10日に公社の違反行為について指摘していたが、認めるか。</p> <p>(5) オリフィスとは何か。三面水路と同じなのか。</p> <p>2 川内原発について</p> <p>再稼働判断をしたからといって原発の危険がなくなったわけではない。引き続き、議会では問題を指摘し、対策を講じるように求めたい。</p> <p>(1) 本年9月議会で「コアキャッチャーがない」という指摘に対して、当局は「コアキャッチャーと同等の機能を持っている」と答弁したが、どのような機能なのか具体的に示してほしい。</p> <p>(2) 格納容器に張ってある水で溶融した炉心を受け止めると、水蒸気爆発の危険が出てくるのではないか。水蒸気爆発が起こる可能性を完全に否定できるか。水蒸気爆発が起こったら格納容器はどうなるか。</p> <p>(3) 避難計画について</p> <p>ア 要援護者の避難計画は、「不可能、つくらない」の発言撤回を知事に求めよ。</p> <p>イ 要援護者の避難施設について、「どこも満床、あるいは満床に近い状態であるため、廊下や会議室などの部屋を使うのではないか」という声があるが、実際はどうか。</p> <p>ウ 在宅の要援護者が一般の避難者の中でどれだけの人数がいると想定するか。</p> <p>エ 避難道路が大雨で崖崩れの危険があることについて、認識があるか。</p> <p>3 地方交付税の見直しについて</p> <p>(1) 財政運営プログラムでは、交付税の減額について、どの程度と見込んでいるか。</p> <p>(2) このたびの交付税の見直しによって、交付税の減額はどの程度になると見込んでいるか。</p>